

立命館生協 共済学習会

第170号



[健康と安全]

取り組み概要

日時：10/1(土)
 場所：立命館大学
 参加者数や組合員の反応：
 約100人の学生委員が参加。

想いに触れながら交流し合う様子があった。

背景や概要：多くの学生委員が共済を理解できていない現状から、共済の想いに触れながら基礎知識をつける場として開催された。新学期の共済推進を始めとした今後の共済活動を具体的に考える時間となった。

共済の魅力を感じる学習会

POINT.1

学生と職員で創り上げた学習会



3キャンパス合同で学生委員会内での共済学習会が開催されていました。全国で学んだ共済の知識を持ち帰りつつ、共済が「もしもの時にみんなで助けあうためにある」ことを学生委員に知って欲しいという目的のもとで行われました。

この学習会は、全国共済セミナーに参加した学生が中心となって、共済担当職員の協力のもと開催されていました。学生と職員が密接に関わり合うことで、より良いコンテンツが作成されていました。

POINT.2

自大学の給付事例から想いを知る

最初は共済の歴史やしくみ、制度に込められた想いを理解するところからスタートしました。そもそも共済とはなにか、共済が大切にしていることはなにか、を自分の言葉で説明できるように学びました。

一通りの基礎知識を身に付けた後は、給付事例のアンケートを読んでもみる時間が設けられていました。自大学の給付状況の特徴を知ることができるだけでなく、給付を受けた人の声から共済のたすけあいの想いを感じることもできる時間となっていました。



POINT.3

4本柱から今後の活動を考える



ここまでで感じた共済の想いを広げる方法を考える時間として、4本柱を使用した共済活動の分析ワークが行われました。その分析をもとにより頑張りたい共済活動をキャンパス別で考え、具体的に今後を見据えることができていました。

学習会の最後は、新学期の共済推進について動き出す時間となりました。組合員がより良い大学生活を送れるよう、一体となって推進活動を頑張ろう、という意思統一ができていました。